

令和元年度 住宅前道路除雪モデル事業 アンケート調査 結果
(調査対象：協力団体及び協力者)

○ 協力団体や協力者へのアンケート調査 (R2. 4. 16~R2. 4. 30)

- ・ モデル事業の実施にあたっての課題等について調査を実施。
- ・ 調査対象：モデル事業の協力団体及び地域の協力者
 - ※ 6町内会（代表者），地域の協力者54名（うち代表者3名）
 - ・ 町内会を対象とした調査：対象者数6
 - ・ 協力者を対象とした調査：対象者数54
 - ・ 町内会と協力者を対象とした調査：対象者数57
- ・ モデル事業の対象世帯：80世帯
- ・ 活動実績：各町内会4回実施

	対象世帯	協力者数		対象世帯	協力者数
永山3区第2	20	10	西三睦	4	4
永山3区第3	13	7	八親	17	10
永山3区第4	7	6	忠和	19	17

Q 年齢・性別について

協 Q1 あなたの年齢を教えてください

〈アンケート結果〉

A 40代	2名	3.7%
A 60代	11名	20.4%
A 70代	37名	68.5%
A 80代以上	3名	5.6%
A 未回答	1名	1.9%

協 Q2 あなたの性別を教えてください

〈アンケート結果〉

A 男性	48名
A 女性	5名
A 未回答	1名

Q 協力者（間口除雪を行う人）の確保について

町 Q3 どのような方法で協力者を確保しましたか？

〈アンケート結果〉

A 回覧等による募集や特定の人に依頼	3団体
A 町内会役員で実施	1団体
A 既存のボランティア組織等	2団体

町 Q4 協力者の確保は難しかったですか？

〈アンケート結果〉

ア 難しかった	1団体	16.7%
イ 難しくなかった	5団体	83.3%
ウ どちらともいえない	0団体	0.0%

町 Q5 今後も協力者の確保は、可能ですか？

〈アンケート結果〉

ア 確保できると思う	3団体
イ 数年は確保できるが将来的には難しくなると思う	2団体
ウ 今年は確保できないと思う	0団体
エ わからない	1団体

昨年度の取組について、協力者の確保は、5団体が「難しくなかった」と回答しているものの、そのうち2団体が「将来的には難しくなる」と回答しています。

町 Q6 令和元年度の活動回数は少雪により想定より少ない4回でした。(1,2月各2回)
令和元年度に実施したモデル事業の協力者の人数は十分でしたか？

〈アンケート結果〉

ア 十分だった	5 団体
イ 少なかった	1 団体

町 Q7 例年並の降雪となった場合、令和元年度の2～3倍の活動が想定されますが、
令和元年度に実施したモデル事業の協力者の人数でも十分だと思いますか？

〈アンケート結果〉

ア 十分だった	4 団体
イ 少なかった	2 団体

Q 活動中のけがについて

協 町 Q8 活動中のけがに備え任意保険の加入は必要だと思いますか？

※令和元年度に御協力いただいた町内会は、全て住民活動保険（市連協）に加入していることを確認しています。

〈アンケート結果〉

ア 任意保険の加入は必要だと思う	29 件	52.7%
イ 任意保険の加入は必要ないと思う	19 件	34.5%
ウ どちらとも言えない	7 件	12.7%

任意保険の加入は必要だと感じている方は半数程度となりました。

Q 協力費について

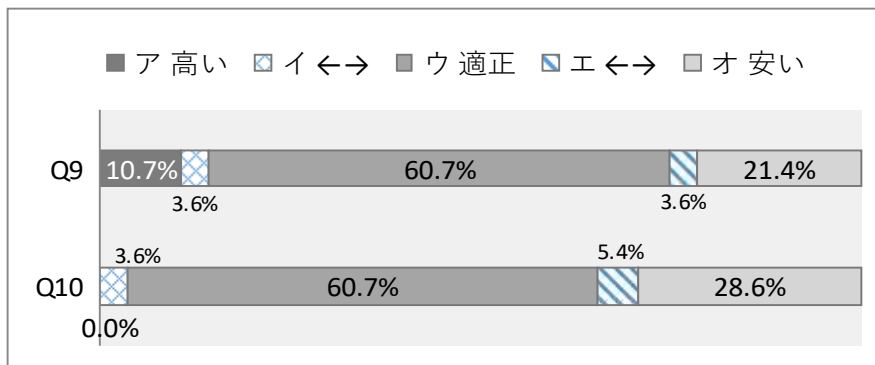
- ・ 協力費の額は、降雪量の違いを考慮し地区毎に定額で設定。
- ・ 福祉除雪サービスの500円/30分を基本に、1世帯当たり1回30分以内の作業と想定し、1シーズンの除雪出動回数（過去の出動実績）を乗じて算出。

協 町 Q9 令和元年度の活動回数は少雪により想定より少ない4回でした。(1,2月各2回)
令和元年度の活動量に対して協力費の額は、どう感じていますか？

	ア	イ	ウ	エ	オ	
	高い	←→	適正	←→	安い	
A	6	2	34	2	12	件

協 町 Q10 例年並の降雪となった場合、令和元年度の2～3倍の活動が想定されますが、
令和元年度の2～3倍の活動量に対する協力費の額は、どう感じますか？
(月4回程度)

	ア	イ	ウ	エ	オ	
	高い	←→	適正	←→	安い	
A	0	2	34	3	16	件



【協力費について】Q9, Q10共に、約6割の方が「適正」と感じており、例年並の降雪となった場合（Q10）は、「安い」と感じる方が2割から3割に増加する結果となりました。回答を平均すると両回答共に「ウ」から「エ」の間となり「少し安い」と感じていることが分かりました。

協 町 Q11 令和元年度は試行的な取組のため活動回数に係わらず地区毎に定額としました。「定額制」と「実績に応じた支払い」どちらが望ましいと感じますか？

〈アンケート結果〉

ア 定額制	23 件	41.8%
イ 実績に応じた支払い	24 件	43.6%
ウ どちらともいえない	8 件	14.5%

定額制と実績払いの割合は各約4割と同程度の結果となりました。

Q 準備作業について

町 Q12 代表者もしくは協力者の方々には、活動の準備作業として、対象世帯の方と現地立会し、事業概要や間口除雪の範囲、雪を置く場所を確認など事前に行ってもらいましたが、1対象世帯当たり、どのくらいの時間を要しましたか？

〈アンケート結果〉

A 6団体中4団体回答あり

A 1世帯当りの現地立会時間4団体の合計時間を平均すると14.25分/世帯

協力団体ごとに必要とした時間にバラツキはあるもの、現地立会等の準備作業に1世帯当たり15分程度の時間を要しています。特に雪の置き場所等について対象世帯と話し合う必要があり、準備作業に6時間以上を要した団体もありました。

Q 活動の実施体制について

町 Q13 協力者への対象世帯の割り振りについて、どのような体制で行いましたか？

〈アンケート結果〉

A 対象世帯の近所の協力員に依頼（数世帯/人:3団体,1世帯/人:1団体）4団体

A その他（話し合い:数世帯/人,1世帯毎担当配置:数世帯/1~数人）2団体

対象世帯の近所の協力者に依頼している団体が多いことが分かりました。

町 Q14 どのような実施体制が望ましいですか？

〈アンケート結果〉

A 現在のままで良いと思う。

A 以前から行っている会員に依頼。

1名で複数の世帯を担当してもらうこともあり、その人の負担増。

Q 連絡方法（車道除雪作業を行った場合の協力団体への連絡方法）について

- ・「代表者」に旭川市もしくは除雪センターから連絡※メール、ファックス
- ・「代表者」から「各協力者」に間口除雪の活動実施を指示
- ・「協力者」は、代表者からの連絡を受け、除雪企業による道路除雪作業の実施後に人力等で実施。

町 Q15 以上が、活動実施までの主な連絡体制ですが、代表者への連絡時間や方法など改善した方が良いと思う点はありますか？

〈アンケート結果〉

A 代表者への連絡時間を早めてほしいとの回答：2団体

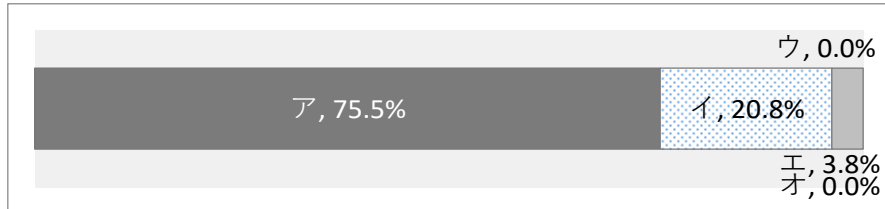
※7~8時頃→6~7時頃

Q 作業時間について

協 Q16 間口除雪は、除雪企業による道路除雪作業の実施後に旭川市又は除雪センターから「代表者」が連絡を受け「協力者」連絡。「協力者」は、その日の午前中に活動を実施することを基本としていましたが、余裕をもって活動を完了することができましたか？

〈アンケート結果〉

ア 余裕をもって活動を完了することができた	40 件
イ なんとか午前中に活動を完了することができた	11 件
ウ 何度か午前中に完了できない時があった	0 件
エ 午前中に活動を完了することができなかった	2 件
オ その他（具体的に)	0 件



協 Q17 午前中に活動を完了することができなかった方にお伺いします。（ア以外）完了することが難しかった事情を教えてください。

〈アンケート結果〉

ア 仕事や私用で活動が遅れた	8 件
イ 対象世帯の件数や雪の量など作業量が多く間に合わなかった	0 件
ウ その他（具体的に)	1 件

【作業時間について】ほとんどの協力者が午前中に活動を完了できており、そのうち約8割の方は余裕をもって作業を完了していることが分かりました。一方、間に合わなかった方は、「仕事や私用」と回答しており、担い手を確保するため、対象世帯の理解を得た上で、柔軟な対応も必要になると考えられます。

協 町 Q18 作業時間（開始、完了）について、対象世帯から何か御意見がありましたか？

〈アンケート結果〉

A 10件の御意見あり、作業時間に関する御意見は1件	
・ 感謝の意見	9 件
・ その他（開始・完了の報告はしない）	1 件

協 町 Q19 作業時間（開始、完了）について、改善した方が良くと思う点ありますか？

〈アンケート結果〉

A 12件の御意見あり。	
・ 現状で良い	1 件
・ 協力者の任意の時間で良い	2 件
・ 開始時間（早めて）	1 件
・ 開始時間（遅めて）	1 件
・ 開始時間（除雪作業の時間提供要望）	1 件
・ 写真撮影が大変	1 件
・ その他	5 件

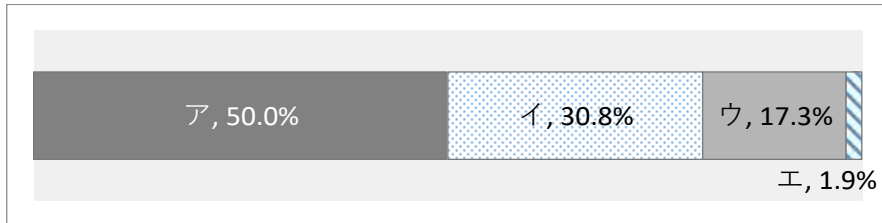
12件中3件が「開始時間」に関する事、2件が「協力者の任意の時間で良いのではないか」となっています。

Q 作業範囲について

協 Q20 間口除雪の作業範囲は、住宅出入口部分のおおむね1.5m幅、道路除雪作業後の残雪から道路境界までをおおむねの除雪作業範囲としていますが、実際の作業では、どの程度の範囲の除雪を行いましたか？

〈アンケート結果〉

ア 概ね基準どおりの範囲を除雪した	26 件
イ 基準より少し広い範囲を除雪した（具体的に ）	16 件
ウ 敷地の全幅を除雪した	9 件
エ その他（具体的に ）	1 件



約半数の協力者は、基準より広く間口除雪を実施していることが分かりました。広く作業した具体的な範囲については、「間口全域」が3件、「車庫前まで」が2件、「玄関入口まで」が2件となって、雪を残すことに対し気兼ねする御意見もありました。

協 町 Q21 作業範囲について、対象世帯から何か御意見がありましたか？

〈アンケート結果〉

A 7件の御意見あり。

・ 感謝の意見	4 件
・ 間口以外の除雪	1 件
・ 写真撮影やめてほしい	1 件
・ その他	1 件

「感謝の意見」が最も多く、その他、「灯油タンクまでの通路の除雪」や「写真撮影」については、撮影が難しいことや、対象者が嫌がる等の理由でやめてほしいとの御意見がありました。

協 町 Q22 作業範囲について、改善した方が良いと思う点ありますか？

〈アンケート結果〉

A 10件の御意見あり。

・ 除雪で車庫等の前も除雪してほしい	1 件
・ 作業範囲を広げる必要あり	5 件
・ 敷地内の通路も除雪すべき	2 件
・ 間口除雪の作業範囲の周知必要	1 件

「作業範囲を広げる」意見が5件と多く、実際に活動する中で、車庫・住宅出入口部分と続いている住宅や周りが綺麗に除雪しているところは、間口除雪の幅だけでは済まないとの意見や「敷地内の通路も除雪すべき」との御意見がありました。

Q 作業手法について

協 Q23 間口除雪の主な作業手法を教えてください。

〈アンケート結果〉

ア 人力で作業を実施	45 件	88.2%
イ 小型除雪機で実施	6 件	11.8%
ウ その他	0 件	0.0%

1割に当たる6件で作業に小型除雪機を使用していることが分かりました。そのうち2件は人力と併用していることが分かりました。

協 町 Q24 今後も主たる作業手法は「人力」と考えていますが、作業手法について、何か御意見があればお聞かせください。

〈アンケート結果〉

A 12件の御意見あり。	
・ 人力が良い	5 件
・ 雪量で人力と除雪機を使い分ける	1 件
・ 大雪時は人力では雪置場なく困難	1 件
・ 人力での除雪は困難（除雪機で作業）	1 件
・ その他	4 件

「人力が良い」との意見が多い結果となりましたが、人力と小型除雪機の使い分けや大雪時の雪置場について人力作業を懸念する意見もあることから、小型除雪機の使用方法等について今後検討が必要と考えられます。

Q 用具等の調達について

協 町 Q25 令和元年度モデル事業では、間口除雪の用具は協力者が自ら調達としてましたが、活動を進める中で、用具の提供など要望はありますか？

〈アンケート結果〉

ア あり（具体的に)	7 件	13.2%
イ なし	46 件	86.8%

用具等の提供要望は約1割の結果となりました。主にスコップの提供要望ですが、除雪機の燃料代を求める要望も1件ありました。

Q 活動の申込みから活動報告に至る書類提出について

町 Q26 改善した方が良いと思う点はありますか？

〈アンケート結果〉

A 書類提出の簡素化の要望 3件

提出書類の簡素化、活動の申込み方法や活動報告書に添付する写真枚数の削減などに対する意見がありました。

Q 対象世帯について

協 町 Q27 間口除雪の対象世帯の方からモデル事業に対して御意見や反応はありましたか？御意見等あれば、お聞かせください。（これまでの御回答以外で）

〈アンケート結果〉

A 13件の御意見あり。	
・ 感謝の意見	8 件
・ 事前の説明不十分	1 件
・ 町内会員以外の間口除雪は要検討	1 件
・ 間口除雪の雪を持って行ってほしい	1 件
・ その他	2 件

「感謝の意見」が最も多く、その他、「事前に対象世帯への説明が不十分」などの意見がありました。

町 Q28 町内会に加入していない対象世帯への支援について、協力者等から何か御意見はありましたか？

〈アンケート結果〉

A 一部不満あり 1件

Q 地域住民による間口除雪の取組について

協 町 Q29 評価できる点があれば、お聞かせください。

〈アンケート結果〉

A 15件の御意見あり。

・ 取組を評価	8 件
・ 地域の連帯感向上に寄与	4 件
・ 間口除雪作業について	1 件
・ 道路除雪について	1 件
・ その他	1 件

町内会単位の助け合いは大事で今後も続けた方がよいなど「取組を評価」する御意見が最も多く、次いで、住民との関係が良好になった、協力者同士のコミュニケーションの増加など「地域の連帯感向上に寄与」する御意見が多くありました。

協 町 Q30 改善した方がよい点があれば、お聞かせください。（これまでの御回答以外で）

〈アンケート結果〉

A 10名の方から12件の御意見あり。

・ 協力者の確保	2 件
・ 協力費について	2 件
・ 作業時間について	1 件
・ 作業範囲について	2 件
・ 道路除雪について	1 件
・ 制度の周知等について	1 件
・ 対象世帯について	1 件
・ その他	2 件

町内会でボランティアの育成など「協力者の確保」に関することや、町内会の代表者への通信や会議に対する「協力費」の検討要望のほか、「作業範囲」や「制度の周知等」として除雪幅の見直しや対象世帯へ除雪幅を周知するなどの改善に関する御意見がありました。

Q その他

協 町 Q31 間口除雪を実施するなかで苦勞した点などあればお聞かせください。

〈アンケート結果〉

A 15名の方から16件の御意見あり。

・ 協力者の確保	3 件
・ 作業時間について	3 件
・ 作業範囲について	6 件
・ 書類提出について	1 件
・ 道路除雪について	2 件
・ 制度の周知等について	1 件

状況により間口全体や車庫前等を除雪せざるを得ない場所があることや雪の置き場所の確保についてなど「作業範囲」に関する御意見が最も多く寄せられました。また「作業時間」が早朝であることや「協力者の確保」に苦勞したとの御意見がありました。

協 町 Q32 以上の他に御意見があればお聞かせください。

〈アンケート結果〉

A 11件の御意見あり。	
・ 協力者の確保	2 件
・ 作業範囲について	2 件
・ 道路除雪について	2 件
・ 対象世帯について	4 件
・ 取組の拡大について	1 件

制度の利用者や町内会未加入者に対する考えなど「対象世帯」に関する御意見が最も多く寄せられました。また、「協力者の確保」に関しては将来的な人手不足を懸念する御意見があったほか、「作業範囲」の雪の置き場に対する問題意識や、「道路除雪」に関して、この取組により除雪の質がさらに低下することを危惧する意見がありました。

Q 今後の意向

町 Q33 令和2年度も地域住民による間口除雪の取組への協力は可能ですか？

〈アンケート結果〉

ア 協力できると思う	5 件
イ 協力は難しいと思う	0 件
ウ 現時点ではわからない	1 件

町 Q34 協力が難しい理由や取組を行うに当たっての課題をお聞かせ下さい。

〈アンケート結果〉

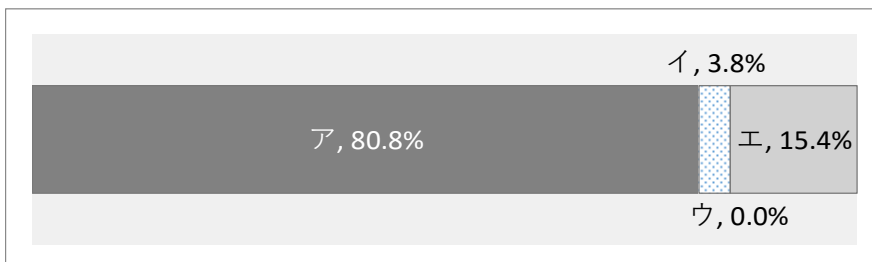
ア 協力者の不足（高齢化による人手不足など）	4 件
イ 活動内容の問題（具体的に)	0 件
ウ 協力費の問題（具体的に)	0 件
エ その他（具体的に)	0 件

【今後の意向（町内会）】現時点では分からないと回答した1団体を除き、その他の5団体は「協力できると思う」と回答しています。「取組協力の課題」としては、高齢化による人手不足などが課題と考えていることが分かりました。

協 Q35 令和2年度も町内会で間口除雪の取組を行うことになった場合、引き続き間口除雪の取組みに協力してもらえますか？

〈アンケート結果〉

ア 協力する	42 件	80.8%
イ 条件によっては協力できる（具体的に)	2 件	3.8%
ウ 協力できない（理由)	0 件	0.0%
エ わからない	8 件	15.4%



約80%の協力者が「協力する」と回答。その他、約4%の「条件によっては協力できる」の条件は、時間を限定されるとできないなどの御意見で、残りの約15%の「わからない」の理由は、健康面や体力的な問題を理由としています。

Q 住宅前道路除雪事業の対象世帯について

協 町 Q36 地域住民による間口除雪が必要のないと思われる世帯は見受けられましたか？
〈アンケート結果〉

ア あった	16 件	29.1%
イ なかった	23 件	41.8%
ウ わからない	16 件	29.1%

約3割の協力者が「必要がないと見受けられる世帯」があったと回答しています。